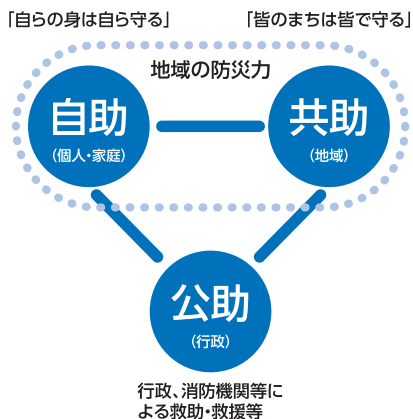


## はじめに…

横浜市は、大地震や台風、土砂災害などの様々な危険にさらされています。本冊子では、こうした様々な災害に対する市民の皆様による自助、共助の取組の参考にしていただくために作成したものです。災害による被害を少しでも軽減するためには、公助に加えて、自助と共助の力が大変重要です。事前の備えや、ご家庭・地域での話し合いなどに、ぜひご活用ください。

令和4年3月 横浜市



## よこはま地震防災市民憲章 ～私たちの命は私たちが守る～

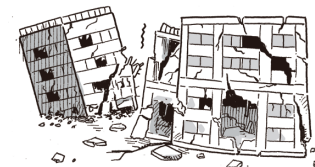
ここ横浜は、かつて関東大震災に見舞われ、多くの方が犠牲になりました。大地震は必ずやってきます。その時、行政からの支援はすぐには届きません。私たち横浜市民はそれぞれが持つ市民力を発揮し、一人ひとりの備えと地域の絆で大地震を乗り越えるため、ここに憲章を定めます。穏やかな日常。それを一瞬にして破壊する大地震。大地震はいつも突然やって来る。今日かもしれないし、明日かもしれない。だから、私は自分に問いかける。地震への備えは十分だろうか。大地震で生死を分けるのは、運・不運だけではない。また、自分で自分を守れない人がいることも忘れてはならない。私は、私自身と周りの大切な人たちの命を守りたい。だから、私は考える。今、地震が起きたら、どう行動しようかと。不安の中の避難生活。けれどみんなが少しずつ我慢し、みんなが力を合わせれば必ず乗り越えられる。だから、私は自分に言い聞かせる。周りのためにできることが私にも必ずあると。東日本大震災から、私たちは多くのことを学んだ。頼みの行政も被災する。大地震から命を守り、困難を乗り越えるのは私たち自身。多くの犠牲者のためにも、このことを風化させてはならない。だから、私は次世代に伝える。自助・共助の大切さを。

平成 25 年 3 月 11 日制定

## ぼうさい 防災よこはま ハンドブック 〈目次〉

### CHAPTER 1 地震

- 横浜市の地震被害想定 ——— 6
- 見直したい家の中の安全 ——— 8
- 備蓄品や非常持出品の準備 ——— 10
- 地震が起きたときの身の安全 ——— 12
- 避難場所のあれこれ ——— 14
- 考えられる被害への備え(帰宅困難者・津波) ——— 16
- 地震後の避難生活 ——— 18



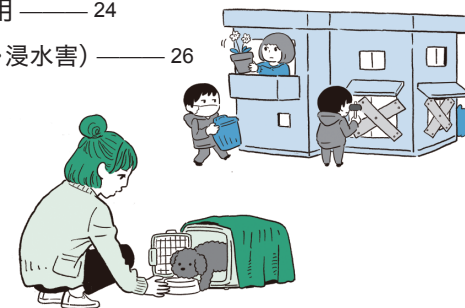
### CHAPTER 2 風水害等

- 気象情報と避難情報の確認 ——— 22
- ハザードマップとマイ・タイムラインの活用 ——— 24
- 考えられる被害への備え(台風・土砂災害・浸水害) ——— 26
- 風水害時の避難行動の確認 ——— 28
- 雷・竜巻・火山災害への備え ——— 30



### CHAPTER 3 共助

- みんなで地域全体を守る ——— 34
- ペット・感染症対策・その他について知っておくこと ——— 36



### 災害時の防災情報ガイド ——— 38

### 横浜市災害時における 自助及び共助の推進に関する条例が 一部改正されました ——— 40

### 災害対策度チェック ——— 40

